

「アメリカの中のアジア ーアジア系米国人の実像ー」

アメリカのアジア系移民社会という、アジアから地理的に遠い「もう1つのアジア」に注目します。アメリカ総人口の1割以下ながら、その勤勉さや強いネットワーク力などで、政治、経済、文化の諸相で着実に台頭してきたアジア系ですが、決して一枚岩ではありません。また、近年変容が著しい民族集団でもあります。

トランプ時代の国際関係への含意は？ オバマ前大統領がインドネシアでの少年期をあまり語らないのはなぜか？ 華人社会は大陸中国の影響でどう変わるのか？ 日系政治家の対日観は？ 出身国からのロビー活動は活発なのか？ 他のマイノリティ集団との関係は？ アジア系の特色から外交や日米関係への影響まで、2000年にニューヨークで大統領選・上院選のアジア系集票戦略を担当した日本人政治学者が、解説します。

多数の参加をお待ちしております。

9月7日(金) 18:30～20:00

於 国際大学 松下図書情報センター3階ホール **参加無料**



講師 渡辺 将人
(北海道大学准教授)

＜講師略歴＞

1975年生まれ。国際関係論修士(シカゴ大学)。博士(政治学、早稲田大学)。専門は米政治。北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。

米下院事務所・上院選本部、テレビ東京経済部・政治部記者、コロンビア大学、ジョージワシントン大学客員研究員を経て2010年より現職。

著書に独自取材による米大統領伝『評伝バラク・オバマ』(集英社)のほか、『現代アメリカ選挙の変貌』(名大出版会)、『アメリカ政治の壁』(岩波新書)など著訳書多数。受賞歴に大平正芳記念賞、アメリカ学会斎藤眞賞、中曽根康弘賞優秀賞、日本翻訳出版文化賞など。

9月6日(木)までに国際大学研究所までお申し込みください。

Tel(025)779-1112, Fax(025)779-1187, E-mail:ori@iuj.ac.jp